

皮膚科この1年

皮膚科医長 伊藤 康裕

診療体制

平成16年3月末に池田雄一が釧路労災病院に転勤、後任として旭川医大から上原治朗が4月に赴任しました。例年通り月1回旭川医科大学皮膚科から飯塚 一教授が外来診療に来ています。

外来診療

外来は医師2名、看護師2名、受け付けに看護助手1名で対応しています。当科で始まった受付専門の看護助手は現在3代目で、今では皮膚科外来に欠かすことが出来ない存在です。昨年の夏は暑い日が続いたため、虫刺症、接触皮膚炎の患者が多く来院し、昨年よりトータルで患者数が1日約130名と増加しています。5月からケミカルピーリングを開始し、座瘡を中心に治療しています。今後も美容分野にも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

病棟診療

病棟は、4月から4階西病棟から2階西病棟に変更になりました。この1年の入院患者は108名です。例年通り皮膚腫瘍の手術患者、帯状疱疹、蜂窩織炎の皮膚感染症が主体となっています。昨年は他病院、他施設で悪化した褥瘡患者が9名入院し、栄養管理、保存的治療、予防だけではなく外科的治療も積極的に行うことにより治癒率も上昇しています。手術は1年間で153例、そのうち麻酔科管理は16例でした。それ以外に外来で小手術、皮膚生検、陥入爪手術、縫合術を約150件行っています。

平成16年手術内容

皮膚腫瘍単純切縫術	125例
腫瘍切除+皮弁形成術	6例
デブリードマン+網状植皮術	3例
腫瘍切除+全層植皮術	2例
拡大切除+全層植皮術	3例
拡大切除+分層植皮術	1例
拡大切除+皮弁形成術	3例
デブリードマン+縫合術	4例
デブリードマン+パンチ植皮術	3例

平成16年入院患者数

皮膚良性腫瘍	33名
帯状疱疹	17名
皮膚悪性腫瘍	12名
褥瘡	9名
熱傷	5名
薬疹	6名
蜂窩織炎、丹毒	13名
慢性湿疹（アトピーを含む）	3名
陥入爪	2名
アナフィラキシーショック	2名
皮膚潰瘍	3名
膠原病	2名
乾癬	1名